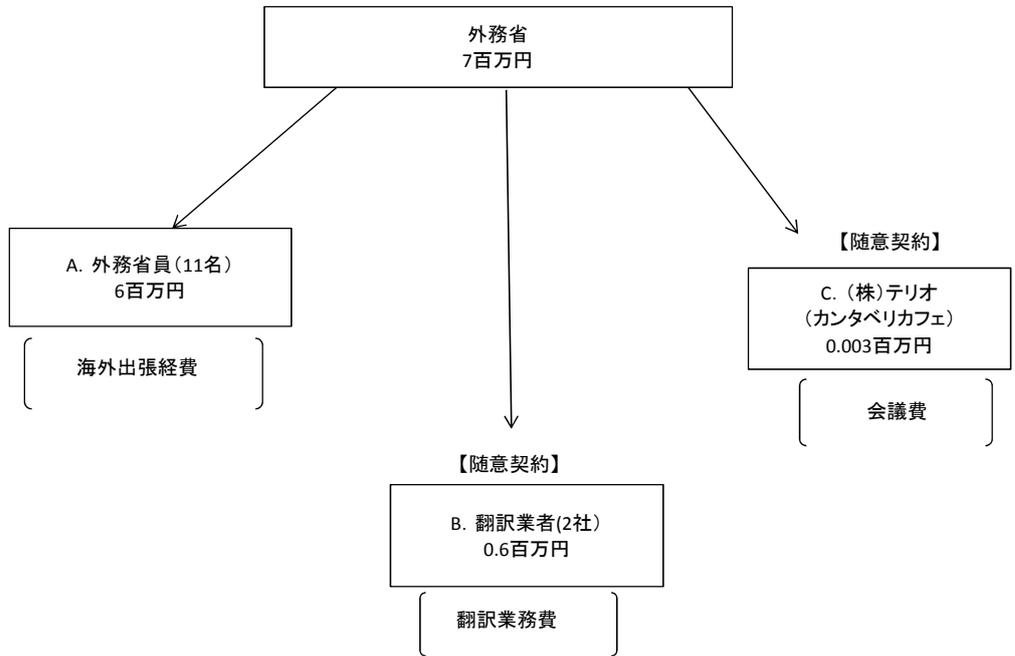


平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国別援助方針策定調査		担当部局庁	国際協力局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度		担当課室	国別開発協力第二課		課長 花尻 卓	
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標VI:経済協力 施策VI-1:経済協力			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条一の八の二十七		関係する計画、通知等	「政府開発援助大綱」(平成15年8月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	関係者の出張及び翻訳等に要する経費を手当てし、被援助国の政府及び他ドナー等との協議等を行い、国別援助方針の適切な策定に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>国別援助方針(平成22年度まで国別援助計画)は、ODA大綱、ODA中期政策の下に位置づけられ、具体的な援助案件選定の指針とすべく、その政治・経済・社会情勢の認識を踏まえ、開発計画や開発上の課題を勘案して作成する国別の我が国の援助方針で、原則としてすべての我が国ODA対象国について策定するもの。</p> <p>方針の策定に当たり、被援助国の政治・経済・社会情勢、開発上の課題等に関する深い理解が求められ、被援助国の政府・他ドナーを含む幅広い関係者との意見交換が必要なため、関係者が同国の政治・開発関係者との協議、援助現場の視察、我が方在外公館、JICAの現地事務所等で構成される現地ODAタスクフォースと意見交換を行うことが必要不可欠である。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	12	12	9	9	9
	執行額	7	12	7	-	-	
執行率(%)	58.40%	98.40%	74.0%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	国別援助計画・方針の策定作業件数(改訂を含む)		成果実績 件数	12	40	49	50
			達成度 %	-	100%	100%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国別援助方針に関する協議のための出張件数		活動実績 (当初見込み)	11 (18)	20 (15)	11 (18)	- (24)
単位当たりコスト	1ヶ国あたり(円/143,499)		算出根拠	1ヶ国あたり=出張経費、会議費、翻訳費の総額÷策定国数 49ヶ国			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.8	0.2	国別援助方針翻訳件数の見直しにより経費減			
	旅費(外国)	7	8				
	有識者旅費	0.9	1				
	会議費	0.02	0.02				
	計	9	9				

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	我が国のODAを戦略的に実施し、国民への説明責任を高める観点から、ニーズは高い。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	有識者等出張経費については各人の経歴に順次格付けの上、国家公務員旅費法に準じた手当を支弁する。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	<p>国別援助方針を策定するにあたっては、相手国の開発ニーズの実態を把握する必要がある。そのためには、相手国政府関係者及びODAタスクフォースから直接意見を聴取することが必須であるため、平成24年度には計 11回(人)の出張が行われた。</p> <p>また、H24年度に策定作業を行った49ヶ国のうち、H25年4月現在、39ヶ国分を公表。残りも順次公表予定。</p>			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名	
点検結果	<p>国別援助方針の策定に際しては、相手国政府及び現地ODAタスクフォースの意見を聴取し、開発ニーズの実態を正確に把握する必要がある。そのためには、国別援助方針策定に関わる関係者が相手国政府との協議や現場視察を行う事は不可欠である。また、相手国政府やドナー等への説明を行うための翻訳等作業は必須であり、本事業は適切であると判断される。</p>					
外部有識者の所見						
—						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	事業の効率化による経費縮減に努める					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	国別援助方針翻訳件数の見直しによる減					
備考						
<p>国民が国別援助方針について理解を深めるために有用と考えられる情報について、以下のWEBサイトで公開している。 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/seisaku/kuni.enjoy_donyu.html また、国別援助方針の策定においては、パブリックコメントを通じて国民から意見を募っている。</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	579	平成23年	563	平成24年	281

個別事業名：



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

* 金額については、ブロック毎に百万円未満を四捨五入しているため、

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A: 外務省員

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外務省出張者A	旅費	0.9		
2	外務省出張者B	旅費	0.9		
3	外務省出張者C	旅費	0.9		
4	外務省出張者D	旅費	0.7		
5	外務省出張者E	旅費	0.6		
6	外務省出張者F	旅費	0.6		
7	外務省出張者G	旅費	0.5		
8	外務省出張者H	旅費	0.4		
9	外務省出張者I	旅費	0.4		
10	外務省出張者J	旅費	0.3		

B: 翻訳業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メディア総合研究所	翻訳業務費	0.4	随意契約	—
2	(株)エアクレーレン	翻訳業務費	0.2	随意契約	—

C:(株)テリオ(カンタベリカフェ)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)テリオ(カンタベリカフェ)	会議費	0.003	随意契約	—